

議会カフェ（報告会＋意見交換会）報告書 ①

令和6年11月7日

山陽小野田市議会

議長 高 松 秀 樹 様

広聴特別委員会

委員長 森 山 喜 久

令和6年9月定例会議会カフェ（報告会+意見交換会）の実施状況について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 開催日時 令和6年11月7日（木） 14：00～15：30
- 2 開催場所 不二輸送機ホール 小ホール
- 3 参加人数 53人
- 4 担当議員名 伊場 勇、大井 淳一郎、岡山 明、奥 良秀、笹木 慶之、
白井 健一郎、恒松 恵子、中岡 英二、中島 好人、中村 博行、
福田 勝政、藤岡 修美、古豊 和恵、前田 浩司、松尾 数則、
宮本 政志、森山 喜久、矢田 松夫、山田伸幸、吉永 美子
- 5 報告会次第
 - (1) 高松議長挨拶
 - (2) 9月議会の報告（議会報告動画を視聴） ※司会者 藤岡修美
 - ① 総務文教常任委員会
 - ② 民生福祉常任委員会
 - ③ 産業建設常任委員会
 - (3) 全体的な意見交換会
- 6 各テーブルの意見
《総務文教常任委員会関係》

*** 令和5年度に実施した地域運営組織(RMO)形成に向けた財政的支援と支援員の配置**

- ・(質問) 支援員を1人いれているが、地域交流センターはセンター長と事務員で仕事は一杯で、RMOをやっていくのにかなり負担が多いと思うが1人で大丈夫なのか。
- ・(回答) 各地区で支援員を1人採用している。支援員は年額440万円上限で、国が全額負担する。今年度は半分の220万円の予算の確保だが、1人で大丈夫か、という意見なので、来年度に向けて440万円一杯まで予算を増額し、人員も増やすべきだという意見があったとして承る。
- ・(質問) 新しい組織を何でやるのかが分からない。みんな、これやって戸惑っている。これやって、だんだん予算が減ってくると思うがどうか。
- ・(回答) 今のご意見は、RMOの審査の時に、議会報告会の中で予算を将来減るんじゃないかという懸念が市民から出ていることを前提に、委員会で審査していく。
- ・(質問) 支援員は、どういう組織から、どんな経緯を通して、山陽小野田市が採用することにしたのか。
- ・(回答) 支援員設置事業というのがあり、主な事業として地域運営組織づくりの検討を支援する、地域づくりをする、ワークショップやアンケートをするのだが、山陽小野田市では本山、須恵、小野田、高千帆、有帆、出合、厚陽、埴生では配置されているがそれ以外のところでは、まだ設置されていない、人選中も何カ所がある。厚狭地区については要らないという結果になっている。
各地区から選ばれているが、元議員、自治会長など色々な人が支援員でいる。
地域のことを良く知っておられる人が選ばれたと思う。
- ・(質問) 地域の支援員はどのように選ばれるのか。
- ・(回答) 地域をよく知る方が選ばれる例が多い。
- ・(質問) 身分はどうか。
- ・(回答) 会計年度任用職員となる。
- ・(質問) 市長から予算は子ども一人50円、老人150円と聞いたが、どうか。
- ・(回答) 人口割などの規定に基づき、市から予算配分されている。
- ・(質問) ふるさとづくり協議会の規約では役員手当の項目があったが、この度は却下された。今から4月1日から大きく動いてくるのだろうが、役員手当を規約の中に取り込む方向性で議会の方からもプッシュしてもらいたい。ボランティアにも限界がある。
- ・(回答) 規約の叩き台を行政が示したが、それに沿う必要はなく、地域運営組織の中で決まりを作っていただく。1番大事なことは持続可能になることだから、妥当な金額は幾らなのかを地区で決めていただく。それを皆さんで決めていただければ一番良いと思う。
- ・(質問) 各地区にできたきっかけは何か。
- ・(回答) 地域交流センターを中心に、色々な団体、自治協とか地区社協とかふるさとづ

くり協議会が協力し合って一つの地域運営組織をつくり、それを中心に、地域課題の解決に取り組むことが全小学校区で行われている。これは山陽小野田市だけではなく全国の多くで取り組まれている。

***災害応急工事事業を増額補正**

- ・（質問）緊急性ということを前提に災害応急をやってしまうと、緊急性が低いところは後回しになる。被害を受けた市民にとっては目の前のことからやってくれ、という気持ちだが、このような質疑は委員会であったのか。
- ・（回答）出ていない。今後、災害応急工事事業の増額の議案が出た時は、この意見を審査でしっかりと伝えていきたい。
- ・（意見）復旧工事で、要望した後でも議員は動いておられるが、最終的に最後まで見てくれる市議を見たことがない。市民のために動いてください。
- ・（要望）災害復旧は早急に行って欲しい。
- ・（意見）日本化薬の反対側の道、山からいつも水が流れている箇所がある。カーブの所。何か怖い。

***その他**

- ・（質問）救急車が患者を乗せてから、行先が決まらず停まっている。そのための市民病院だろうと思うが、救急車が行くのはほとんど労災か一番東の端の病院。しかも、さんざん待つ。どうにかならないのか。（総務文教および民生福祉）
- ・（回答）救急車のある消防は総務文教常任委員会、救急・病院・市民病院に関しては民生福祉常任委員会がそれぞれ担当委員会。救急車がたらい回し、行き先がない現状は大きな問題だと、議会全体で認識したい。
- ・（意見）花火もよいが1日なのでその時だけでもったいない。継続した何かを RMO で、地域で考えないといけない。有帆や本山では地域運営組織で花火を打ち上げる。（総務文教および産業建設）
- ・（要望）厚狭複合施設のアリーナにエアコンを付けてもらいたい。

＜民生福祉常任委員会関係＞

***市民病院の決算について**

- ・（質問）市民病院はずっと赤字なのか。
- ・（回答）単年度決算で、令和4年度は黒字である。
- ・（質問）将来的にはどうなのか。労災と日赤とか大きい病院があるが、市民病院は大丈夫なのか。
- ・（回答）令和9年までに赤字を解消する目標があり、それは解消できるのかという質問したところ、病院側はそれは難しいと思いますという回答があった。

- ・（質問）経費が大きくて赤字になってるのか、あるいは患者さんが少ないから、要は売上げが少ないから赤字になっているのか。
- ・（回答）入院患者が増えたが、外来患者が減っている。それも大きな要因になってる。
- ・（意見）市民病院は収支均衡が達成可能かどうか、構造的な問題があるのではないかと、等の根本部分をキチンと詰めて欲しい。
- ・（意見）市民病院は必ず赤字になる。100 床あっても常に 100%になることは絶対になく、それで設定している。入って 80%。市民病院はみんなのためにあるのだから、市民病院は毎年 1 億円赤字になりますが、皆さんそれでも良いですか、と市民に問わないといけない。5 億赤字で 3 億ぐらい入れる。それを皆が反対って言ったら、市民病院をやめましょうよ。
- ・（回答）公立病院は赤字が当たり前なのか、あるいは黒字が難しいのかを委員会で議論していない。収支均衡を図るためにどうなのか、という議論もしていない。赤字でどうなのか、その実態がどうかということを、もう少し議会で詳細に審査してくれということなので、貴重な意見として承る。
- ・（質問）日本一安い病院を作ってずっと赤字。その要因は、一つは内科医が全然増えていない。病院の先生は昔から 20 人いないのではないかと。
- ・（回答）25 人。
- ・（意見）僕が不思議だと思うのは、病院が赤字ということは患者が少ないから。病院を黒字にすることは患者を増やすことになる。（社会的には）患者は少ないほどいいですね。
 例えば極端に言うと、泥棒が少ないと警察官の仕事がない、暇。警察官は暇な方が良いですね（、社会が平和な証しだから）。だから病院は赤字のほうがいいんじゃないか（、皆が健康だという証しだから）。黒字化とか、患者数を増やすとか、何か矛盾を感じる。病院経営はトントンで良いと思う。
- ・（意見）市民病院はだいたい赤字になる。ただし、今は救急でもたらい回しになったり、待たされるが、山陽小野田市の市民は 100%受入れましょう、全部受け入れるよ、サービスは抜群だとなれば、市の金を使ってもあまり言わない。
- ・（意見）先生がいらないから救急車を受入れられない。訪問介護にして、ベット数を減らしたのも、目先の 5,000 万円の補助金をもらいたいがため、結果的に救急車の受け入れが出来ていない。
- ・（意見）「赤字の件は、国の政策によって変わるから、我々が目一杯働いてもとどうしようもならない」と局長が言ったが、あんな答弁はない。95~96%のベット稼働率がないと赤字なのは当たり前。80 何%などは、先生や看護師は全然仕事をしていないのではないかと。そこを議員が誰も言わない。議員ももっと勉強して突っ込まないといけない。公立病院の役割として赤字路線の現状は分かるが、救急ぐらいいは受け入れて欲しい。

- ・（要望）救急の際、救急車がどこの病院に行くのかが不安。救急の当番制もあるが、救急、回復ケア、介護、地域連携などの仕組みをしっかりと欲したい。

***その他**

- ・（質問）救急車が患者を乗せてから、行先が決まらず停まっている。そのための市民病院だろうと思うが、救急車が行くのはほとんど労災か一番東の端の病院。しかも、さんざん待つ。どうにかならないのか。（総務文教および民生福祉）
- ・（回答）救急車のある消防は総務文教常任委員会、救急・病院・市民病院に関しては民生福祉常任委員会がそれぞれ担当委員会。救急車がたらい回し、行き先がない現状は大きな問題だと、議会全体で認識したい。
- ・（質問）視覚障害者の人も外出することによって、みんなが楽しむことぐらい出来るようにしてもらいたい。タクシー券でも少し出すとか、100円バスとかを考えてもらいたい。
- ・（回答）金額的には1,500万円ぐらい福祉タクシーの助成をしている。宇部市の100円バスとかの話もだが、民生福祉委員会の中でも県外に視察に行って、市の執行部にも報告し、他の事業との兼合いがあるので今すぐ100円バスの実現は厳しいと言う返答。100円バスは私達も良いと思うが、高齢福祉に対して、移動手段について、もっと力を入れていかなければいけないということは預からせて頂く。
- ・（意見）他所から来た人に、空家のリフォーム補助をしっかりとPRして、手厚くすれば、空き家が減る、市の困りごととも減る、人口もどうにかなるのではないかと。
- ・（意見）視覚障害者の方の先ほどの切実な願い、生活に困っている人がこれだけいるのに、今の説明はとても不親切。答えがすごい他人事。
- ・（要望）普通タクシーを利用しているが、運転手が障害者は介護タクシーに乗れば良いという考えで2度3度、愚痴を言われた。運転手に悪い顔をされて、1人で乗るなどと言われて肩身が狭い。お年寄りも外に出ましようと言われるが、そんな感じだから外に出にくくなる。改善できないか、それを市の方で言ってもらいたい。
- ・（要望）子どものためにも、コミュニティーの場を残して欲しい。例えば、盆踊りを止めるという話が出ても、そういう場に市議が行って助言をして欲しい。

《産業常任委員会関係》

***商店街等活性化事業と小規模土木事業を増額補正**

- ・（質問）何故、縄地ヶ浜が花火の打ち上げ地として選ばれたのか。安全面で大丈夫なのか、この2点について、どうなのか。
- ・（回答）そういう質疑はしなかった。安全面は事業責任者である商工会議所が責任をもってやられると思う。
場所はそこしかなかった。ご心配の色々な危険に関しては、警察、消防、行政

の各関係機関から許可を頂いてやっている。100 万円議決したので、しっかり見ておきたいと思う。

- ・(質問) 花火は昔からある。なんで新しいところですか。
- ・(回答) 委員会では議論していないが、市民まつりが無くなって、花火が無くなった、何か復活して欲しいという声があって、商工会議所が花火大会をしたいということとで始めた。
- ・(質問) 100 万円の補助だが、厚狭も埴生も花火をしているがどうなのか。
- ・(回答) 埴生の花火は 100 万円出ている。厚狭が 85 万。
- ・(意見) 花火もよいが 1 日なのでその時だけでもったいない。継続した何かを RMO で、地域で考えないといけない。有帆や本山では地域運営組織で花火を打ち上げる。(総務文教および産業建設)
- ・(意見) 今年、秋吉台の花火大会が有料制だった。花火は有料観覧席を設けるところが増えている。有料席で収入を得る手段もある。

***住宅リフォーム資金助成事業の予算増額を求める決議**

- ・(質問) 住宅リフォームの補助をする理由は何か。
- ・(回答) 例えば耐震、家の建て替えは無理でもリフォームしたい、バリアフリーしたい等の高齢化対策などで、市の方から補助する。
- ・(質問) 耐震のためにということは分かるが、もっと住みやすくするためのリフォームに関してまで補助するのはおかしい。自分で出したら良いと思うが、どう考えたら良いのか。
- ・(回答) 市内業者の育成と地場産業の育成のためにやっている事業でもある。市民の方からは、何もかもリフォーム助成するのはどうなのか、という懸念の意見を頂いた、と審査の際に出させていただく。
- ・(質問) 住宅リフォームは幾ら出るのか。
- ・(回答) 地元業者で、7 万円が上限。
- ・(意見) 高齢化で手すりを付けなければいけない場合は介護保険に申請が出来て、住宅リフォーム助成で補助する必要はない。
- ・(意見) 申請の件で、例えば雨漏りした、申請して許可まで雨漏りの修理は出来ない。そういう状況を改善すべき。一応受付をし、反社や税金滞納などに引っかかると出ないよとすれば工事ができる。お願いしたい。

***その他**

- ・(質問) 道に木が覆いかぶさっていて、緊急車両の通行が難しい。どうにかならないか。
- ・(回答) 法律改正がされて、行政に申し立てをしたら切れることになった。何処の道にどんな木があって人が通ると危ない、車が通る際にあたる、といったことを市へ

連絡したら良い。

- ・(質問) これから先の高齢化の社会をどうやっていくのか、議員の皆さんと話してみたい。議会カフェも良いが、もっと自治会の中に入って来てもらい、自治会のみんなと話をして、これはここまでできる、これは行政が、ここからは皆さんがやりなさいとキチンと分けて、これからの社会をどういうことになるのかをやっていかないといけない。議員2人ぐらい来てもらって話をする、そういった機会を作ってもらって、意見を徴収して議会、市政に反映してもらいたい。
- ・(回答) 今、広聴特別委員会がこの議会報告会担当だが、こういった場所に来ていただくだけでなく、委員全体でどんどん出ていこうと議論している。今の御意見は貴重な御意見として受け止め、広聴特別委員会で議論していく。
- ・(意見) 県内の餅まきに行っているが、もう52か所程今年だけで行った。小野田線の無人駅をスペースにして、何かイベントなどに活用できないか。スタンプラリーや携帯アプリでクイズを解くなども考えられる。活性化事業として、美祢線や小野田線で餅まきをするなど、立派な題材となり得る。
美祢市は交流センターで住みます芸人と一緒に毎月イベントをされている。餅まきで集客できる。
- ・(意見) 横断歩道とか道路の白線が消えている。杣尻のバイパス下も道も分かりにくい。夜とかは怖い。

その他

- ・(質問) みんなの意見を回答して欲しい。しないと意見した甲斐がないがどうか。
- ・(回答) 議会カフェでお預かりしたものは、議会の主なものは、議論に関してこちらの方を参考に見てください。
- ・(意見) このような場には行政が来た方がいいのではないかな。
- ・(意見) もちまきで町おこしもできる。
- ・(意見) 美祢には地域おこし協力隊で芸人がまちのPRをしている。山陽小野田でもできないかな。